

## 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日
中間配当を行う場合の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
住所変更等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載サイトアドレス	<a href="http://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/">http://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/</a>
上場取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場
銘柄コード	4819

 **Digital Garage**

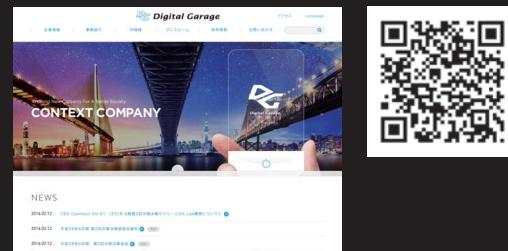
株式会社デジタルガレージ

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号  
【お問い合わせ先】 ☎03-6367-1111 ✉ [dg4819.ir@garage.co.jp](mailto:dg4819.ir@garage.co.jp)  
【当社Webサイト】 <http://www.garage.co.jp/ja/>

## ホームページのご案内

当社ホームページではIR情報のほか、デジタルガレージグループに関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。

当社Webサイト <http://www.garage.co.jp/ja/>



当社Webサイト IRページ <http://www.garage.co.jp/ir/>



## 年次報告書のご案内

新たに年次報告書(2015年6月期)を作成しました。財務戦略や各事業セグメントの経営戦略などのコンテンツを収録しております。ぜひご覧ください。

当社Webサイト 年次報告書PDFページ  
[http://www.garage.co.jp/ja/ir/library/pdf/2015\\_DG\\_Annual.pdf](http://www.garage.co.jp/ja/ir/library/pdf/2015_DG_Annual.pdf)



# Business Report

第21期 2016年6月期 第2四半期

# IT / MT / FT OPEN INNOVATION

 **Digital Garage**

Incubation Technology Segment



**DGUS**

**DK Gate**



Marketing Technology Segment

Financial Technology Segment



Media Incubation Segment

**kakaku.com**

 **Digital Garage Group**

# 2016年6月期 第2四半期 決算サマリー

～新中期計画の戦略実行を推進、オープンイノベーションへの取り組み開始～

新中期計画のスローガン「IT/MT/FT×Open Innovation」を掲げてスタートした2016年6月期も半年が経過しました。この数年間は、変化のスピードが著しいインターネット業界においても、技術変化の波が一段と大きくなることが予測されます。その変化の波に対応し、DGグループの新たな事業の柱となる事業の芽を育てることを目的に、最先端の技術への積極的な投資を行うとともに、オープンプラットフォーム型の新たな研究開発組織「DG Lab」を発足することにしました。「DG Lab」は、今後さまざまな事業の基盤になることが期待できる「ブロックチェーン」や「人工知能」、「バーチャルリアリティ」などを重点分野とし、これらの分野において高いレベルの技術を持つ国内外の投資先企業と連携してオープンイノベーションを推進していきます。



代表取締役社長  
兼 グループCEO  
林 郁

## 【2016年6月期 第2四半期 決算ハイライト】

新中期経営計画の初年度上期は順調に推移、通期見通しも期初計画通りの進捗

2016年6月期 第2四半期(累計)は、売上高19,843百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益1,626百万円(同6.4%減)、経常利益2,694百万円(同22.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,796百万円(同48.8%減)と増収減益となりました。最終減益は、前年同期の関係会社株式の一部売却に伴う特別利益が無くなったことが要因です。

また、当社のインキュベーション事業の特性(特に株式売却益)から、株式売却のタイミングによって四半期ベースの収益は変動いたしますが、本第2四半期決算は、社内予算を上回って着地しており、通期の業績予想についても、変更はありません。

インキュベーションテクノロジー・セグメントでは、今後のイン

ターネット技術変化の大きな波を見越して、今後特に重要な発展テーマとなるフィンテック、人工知能、仮想現実等の領域に積極的に投資を行った結果、本第2四半期末の投資残高は131億円まで拡大しました。マーケティングテクノロジー・セグメントにおいては、新規に大手カード会社へプライベートDMPを提供しました。フィナンシャルテクノロジー・セグメントでは、スマホ決済の浸透などを追い風に決済取扱高が順調に拡大、2015年暦年で初めて1兆円の大台を突破し、各セグメントとも通期目標達成に向け、事業展開を拡大しております。

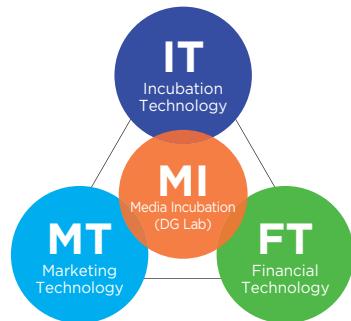
株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(単位:百万円)	2015.6期	2016.6期	前年同期比		2016.6期
	上期(実績)	上期(実績)	(比率%)	(金額)	通期(予想)
売上高	17,887	<b>19,843</b>	+10.9	+1,956	<b>41,000</b>
営業利益	1,737	<b>1,626</b>	-6.4	-111	<b>5,200</b>
営業外収益	1,884	1,372	-27.1	-511	
持分法投資利益	905	1,060	+17.1	+155	
為替差益	708	-	-	-708	
営業外費用	159	304	1.9倍	+145	
為替差損	-	112	-	+112	
経常利益	3,462	<b>2,694</b>	-22.2	-768	
特別利益	2,302	117	-94.9	-2,184	
持分変動利益	2,234	99	-95.6	-2,134	
投資有価証券売却益	68	-	-	-68	
関係会社株式売却益	-	18	-	+18	
特別損失	71	10	-85.8	-61	
税金等調整前当期純利益	5,693	<b>2,802</b>	-50.8	-2,891	<b>8,200</b>
法人税等	1,988	1,004	-49.5	-983	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,506	<b>1,796</b>	-48.8	-1,709	<b>5,500</b>

— 新スローガン —

## IT/MT/FT×Open Innovation

～Creating New Contexts for a Better Society～

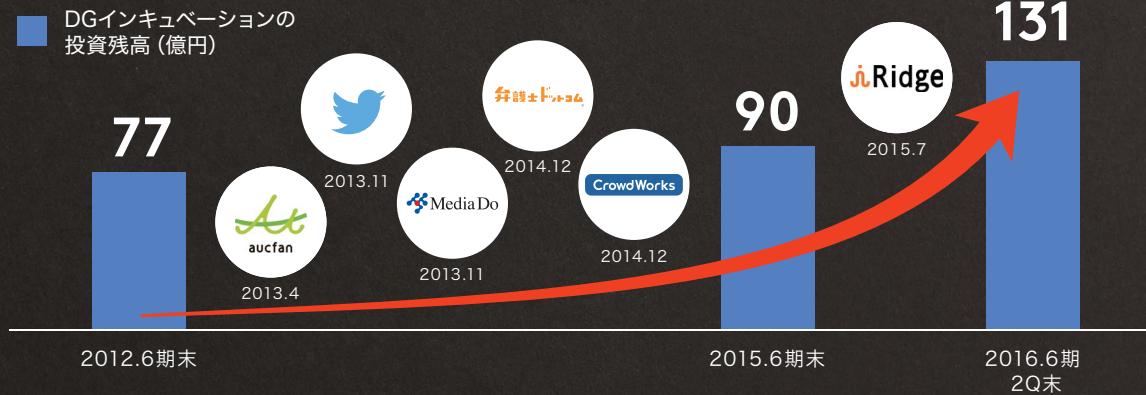


- I** IT/MT/FTの各セグメントでオーガニック成長
- II** 各セグメントに及ぶDG独自の横断プラットフォームにより、インキュベーション加速
- III** 各セグメントを横断的に繋ぎカカコムと次世代メディア育成の新セグメントMIを新設

# 2016年6月期 第2四半期 事業ハイライト

IT

次世代テクノロジー分野への戦略的投資を継続  
DGインキュベーションの投資残高は131億円まで拡大



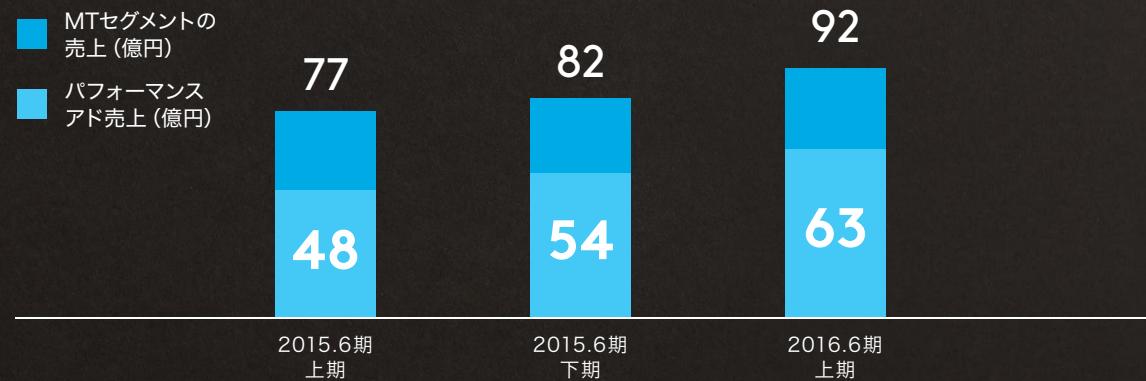
FT

国内Eコマース市場の拡大及び新電子決済領域の深耕により事業を拡大  
2015年の年間決済取扱高は大台の1兆円を突破



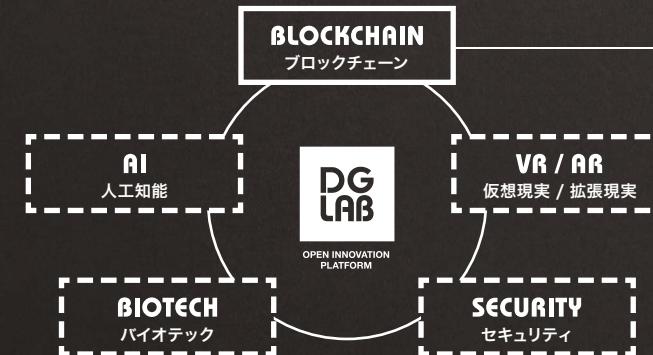
MT

パフォーマンスアド領域が大きく成長  
デジタルマーケティング分野における強固なプレゼンスを確立



DG LAB

次世代のプロダクト、サービスを生み出す研究開発組織  
「DG Lab」を発足、5つの領域にフォーカス



BLOCKCHAIN with  
Blockstream Corp.

第1弾として、ビットコインの基盤技術であるブロックチェーン技術の開発を手掛けるBlockstream社に出資しました。今後は、同社の技術を利用した日本市場向けのFinTech関連サービスの開発と実証実験を、さまざまな企業と連携し行う予定です。具体的には、クレジットカード会社や銀行など大手金融機関と連携し、デジタル通貨や各種ポイントサービスなどを利用可能な次世代決済プラットフォームの開発を検討しています。

第1弾

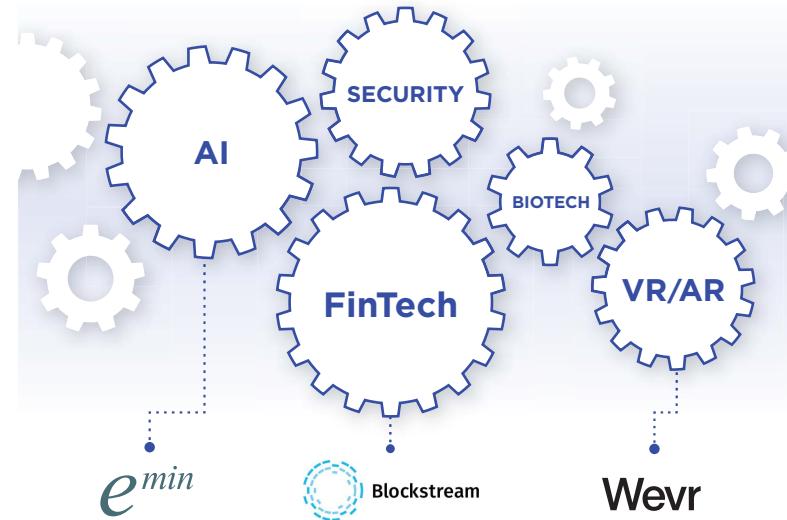
## 国内投資先が上場、インキュベーション成果を実現

～投資残高は131億円まで拡大～

インキュベーションテクノロジー事業におきましては、国内外のベンチャー企業への投資及びマーケティングや決済といった当社グループ内の事業との連携による投資先の育成などを行っております。また、新たな取り組みとしてオープンイノベーションアプローチによる新規事業開発も開始しました。

今期は国内の投資先である㈱アイリッジが新規に株式公開し、前期に続きインキュベーション成果を実現いたしました。また、新中期経営計画の数値目標達成を見据えて、さらなるインキュベーション成果を実現すべく、FinTechなど新分野へ積極投資した結果、投資残高は90億円から131億円まで拡大しました。

## &lt;FinTechなど最先端のテクノロジー分野へ積極投資&gt;



**Emotion Intelligence㈱**  
感情を分析する人工知能エンジンを利用したECサイト向けサービス「ZenClerk」を提供

**Blockstream Corp.**  
ビットコインの基盤技術であるブロックチェーンの、多目的な応用を容易にするプラットフォーム技術「サイドチェーン」を開発

**WEVR, Inc.**  
バーチャルリアリティー(仮想現実)の制作者や利用者向けの革新的なオープンネットワークである、「Wevr Transport™」を開発、運営

## パフォーマンスアドに続き、スマートフォン向け広告が順調に拡大

～スマートフォン向けアプリ広告が業績を牽引～

マーケティングテクノロジー事業におきましては、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティングを行っております。ウェブを利用した販売促進や、インターネット広告を手がける当社マーケティングテクノロジーカンパニーは、引き続き収益性の高い、スマートフォン向けの広告販売が進み売上高

が順調に拡大しました。また、ビッグデータ関連事業への取り組みとして、大手カード会社へのプライベートDMPの提供や、日本最大規模の購買行動データベースを保有するカスタマー・コミュニケーションズ㈱と資本提携いたしました。今後は、次世代のデータマーケティングソリューションを新たな事業の柱とすべく取り組んでまいります。

## セグメント売上

92 億円

前年同期比 +19%

## パフォーマンスアド売上

63 億円

前年同期比 +31%

## アプリ広告売上

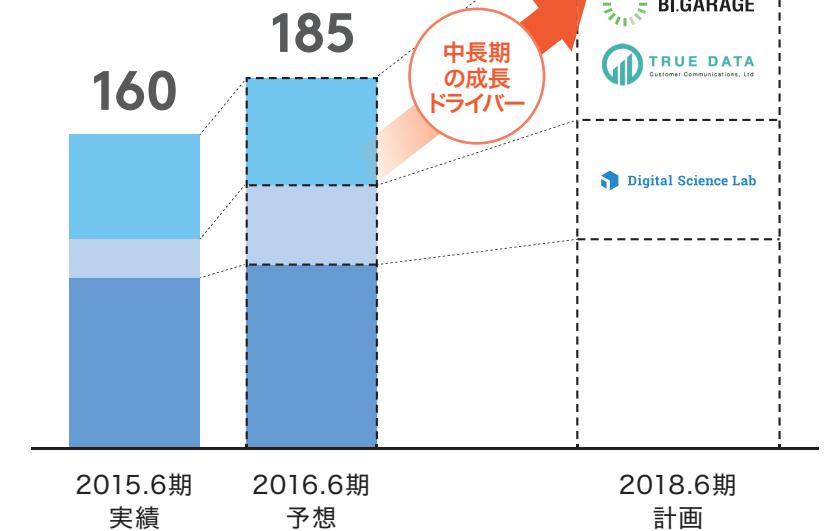
17 億円

前年同期比 +230%

## &lt;次世代のデータマーケティングソリューションにより成長を加速&gt;

— 売上高(億円) —

- データマーケティングソリューション
- スマホ・アプリ広告
- 運用型広告(PC)



## 年間総取扱高が1兆円を突破

～次世代型【スマート決済プラットフォーム】構築を視野に事業を拡大～

フィナンシャルテクノロジー事業におきましては、EコマースをはじめとするBtoCの商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューションの提供を行っております。日本国内で決済事業を展開するペリトランス(株)及び(株)イーコンテキストにおいて、2015年1月から12月の決済取扱高合計が初め

て1兆円を超えました。また、(株)カカオムの「食ベログ」と連携した飲食店向けスマートフォンを使った対面決済サービスや、ネット上での個人間売買サービス(オンラインフリーマーケット)の発達によるスマホ決済の浸透の追い風もあり、年間総取扱件数は過去最高の2億件の大台を超えるなど、順調に事業を拡大いたしました。

### セグメント売上

80 億円

前年同期比 +14%

### セグメント営業利益

8.4 億円

前年同期比 +42%

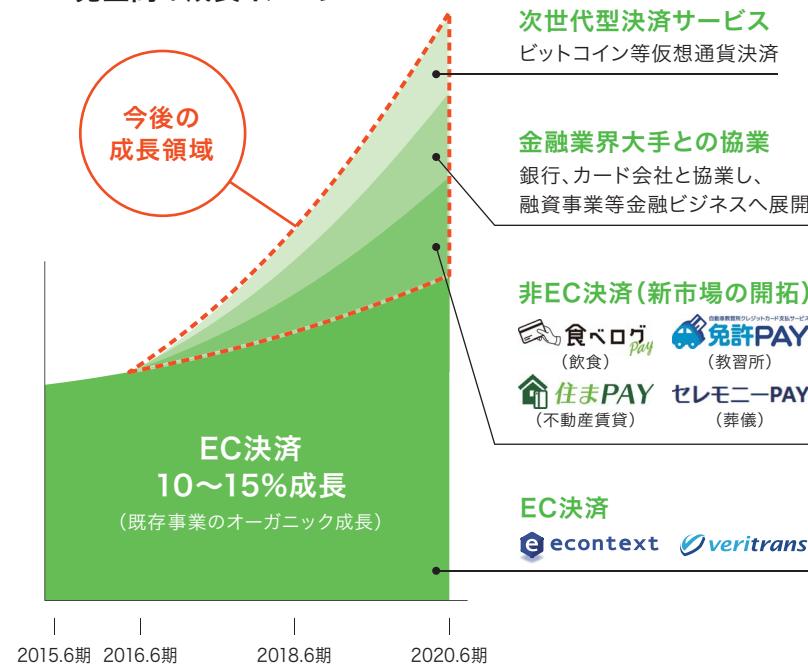
### 年間総取扱高

1 兆円

前年比 +31%

### <FinTech領域や次世代金融サービス開発に向けた取り組みを始動>

#### 売上高の成長イメージ

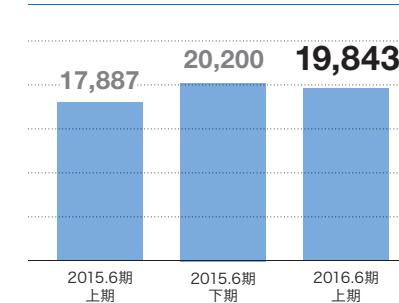


## 業績ハイライト

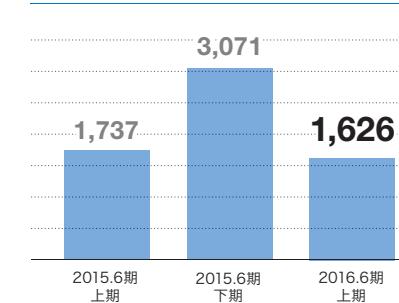
### 連結業績の推移

(単位:百万円)

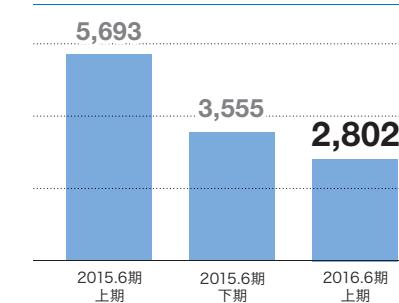
#### 売上高



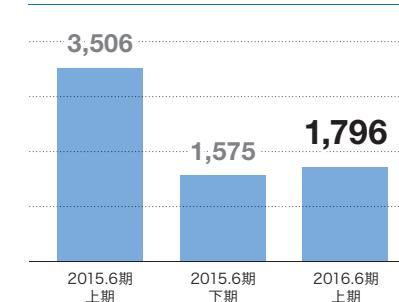
#### 営業利益



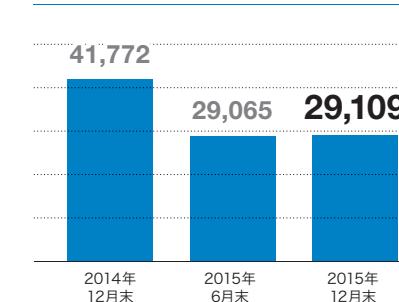
#### 税金等調整前当期純利益



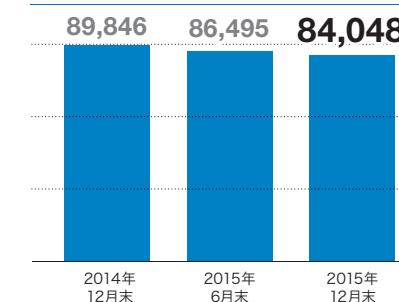
#### 親会社株主に帰属する当期純利益



#### 純資産額

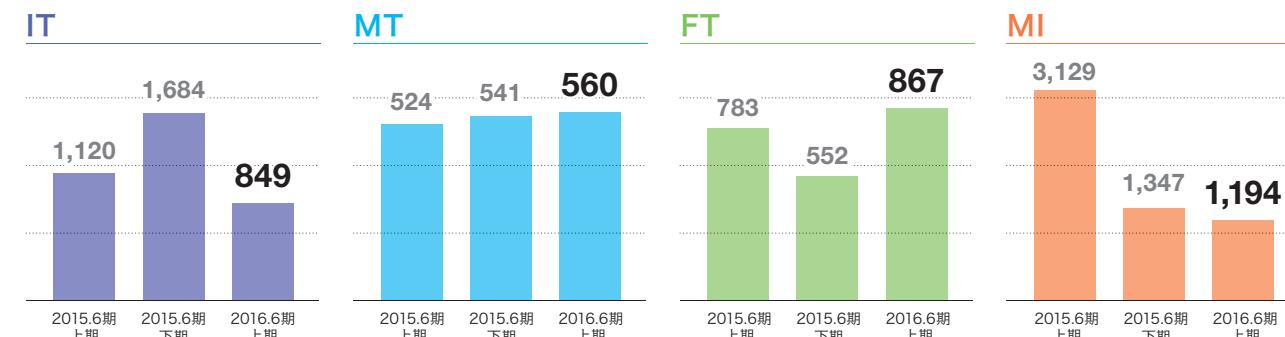


#### 総資産額



### 事業セグメント別税金等調整前当期純利益の推移

(単位:百万円)



## ❖ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)	2015.6期末	2016.6期 2Q末	前期末比 (金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	57,742	<b>55,893</b>	-1,849	
現預金	30,956	<b>20,319</b>	-10,636	法人税と配当金の支払い、借入返済及び新規投資等
未収入金	11,646	<b>14,536</b>	+2,890	決済事業関連科目
金銭の信託	3,120	<b>3,614</b>	+494	決済事業関連科目
営業投資有価証券	8,208	<b>13,217</b>	+5,009	新規投資、投資先上場に伴う時価評価等
固定資産	28,752	<b>28,155</b>	-596	
投資有価証券	14,220	<b>13,685</b>	-534	営業投資有価証券への一部区分変更、 持分法投資利益の取込、投資先株式の時価評価等
のれん	6,237	<b>6,001</b>	-235	
資産合計	86,495	<b>84,048</b>	-2,446	
流動負債	50,623	<b>37,337</b>	-13,286	
預り金	20,998	<b>27,055</b>	+6,056	決済事業関連科目
短期借入金	23,533	<b>5,207</b>	-18,326	econtext Asia社株式取得資金の借入の一部返済
固定負債	6,805	<b>17,601</b>	+10,795	
長期借入金	5,546	<b>16,693</b>	+11,146	長期安定的な資金調達による借換
負債合計	57,429	<b>54,939</b>	-2,490	
純資産	29,065	<b>29,109</b>	+44	
株主資本	24,640	<b>25,263</b>	+622	
資本金	7,426	<b>7,435</b>	+8	
資本剰余金	2,854	<b>2,846</b>	-7	
利益剰余金	14,429	<b>15,050</b>	+621	
その他の包括利益累計額	4,002	<b>3,410</b>	-591	
有価証券評価差額金	2,585	<b>2,110</b>	-475	時価のある有価証券の税引後含み益
負債・純資産合計	86,495	<b>84,048</b>	-2,446	

## ❖ 会社情報

(2015年12月31日現在)

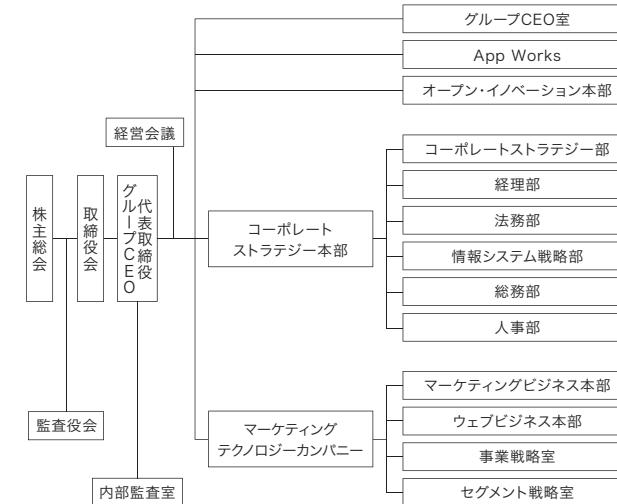
### 会社概要

商号 株式会社デジタルガレージ 従業員 (単体) 288 名  
設立 1995年(平成7年)8月17日 (連結) 519 名

### 役員

代表取締役社長 兼 グループCEO	林 郁	取締役	伊藤 穰一
取締役副社長	六彌太 恭行	取締役	藤原 謙次
取締役	曾田 誠	取締役	大村 恵実
取締役	踊 契三	常勤監査役	牛久 等
取締役	田中 将志	監査役	坂井 眞
取締役	岩井 直彦	監査役	井上 準二
取締役	横田 宏喜	監査役	牧野 宏司

### 組織図



### 株式情報

発行可能株式総数: 120,000,000株 議決権総数: 470,292個  
発行済株式総数: 47,289,200株 株主数: 11,085名

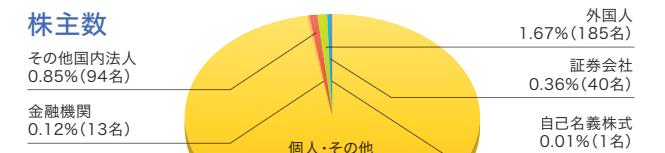
### 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	6,770,200	14.39
(株)電通	3,300,000	7.02
ザバンク オブ ニューヨーク 133524	1,864,000	3.96
TIS(株)	1,483,800	3.15
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,165,700	2.48
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,121,600	2.38
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,034,000	2.20
ジェービー モルガン チェース バンク 385166	927,100	1.97
チェース マンハッタン バンク ジーティーエス クライアランス アカウント エスクロウ	788,126	1.68
(株)クレディセゾン	655,200	1.39

※持株比率は自己株式(256,800株)を控除して計算しております。

### 株式分布状況

#### 株主数



#### 株式数

